

## 途上国の教育支援を、青森から

### 【インタビュープロフィール】

- ・氏名：中島 朋子（なかじま・ともこ）
- ・年齢：35歳
- ・出身：東京都（Iターン）
- ・現在の居住地：青森市
- ・移住前の居住地：ウガンダ
- ・いつから移住：2019年6月～
- ・職業：フリーランス 教育コンサルタント



## 結婚を機に夫の地元である青森へ

将来は途上国支援の仕事がしたいと思い、大学院卒業後は自分の力を最大限に伸ばせそうな外資系コンサルティング会社に入社しました。

4年間さまざまな事業を経験したなかで、途上国の進出支援に携わったことから「**やっぱり途上国の子どもたちの教育支援がしたい!**」という思いが膨らみ、試験合格を機に転職し、外務省の研修を経て、国連機関であるユニセフのフィリピン事務所に2年間、教育と平和構築担当官として赴任しました。



## 結婚を機に夫の地元である青森へ

その後2017～2019年までウガンダで、主に難民の子どもたちへの教育支援の仕事に携わりました。

ウガンダから帰国後は学生時代から付き合いしていた**青森出身の夫と結婚し、青森で暮らしています。**

途上国や海外の仕事をした<sup>い</sup>想いが強かったわたしは自分に合った仕事がないのではないかと、**当初青森に移住することを躊躇していたのですが、ウガンダで2年間暮らしたことで感覚が変わりました。**



## **結婚を機に夫の地元である青森へ**

「コンビニもないウガンダで生きていけるならどこでもやっていける！」と思うようになり、また大都会よりも自然豊かな環境で暮らしたいという思いが強くなりました。

その頃には、**自分の仕事が場所を問わずにできる状態になっていた**ので、青森に移住してもやりたい仕事を続けられそうだと思います、移住を決意しました。



## 教育の専門家として、 青森に居ながら途上国を支援する

わたしの仕事は、各国の国際機関が出す専門家の公募情報から、自分の経歴に合致する分野の仕事を選んで応募し、選考に通ると**半年～1年程度のプロジェクトに携わる**、という業務形態です。

現在は、ウガンダ、レソト、ミクロネシア各国の国際機関と契約を結び、**各国が必要とする専門知識や経験を提供するコンサルタントとして業務を行っています。**



## **教育の専門家として、 青森に居ながら途上国を支援する**

主な専門分野は**教育開発**で、国際基準に合わせた教育政策や教育計画の策定をお手伝いしています。

この業務で作成した教育政策や計画を元に、その国の行政システムの変更の必要性を訴えたり、国際社会に対して資金援助を獲得することになるので、これらの業務は**国の教育推進の土台づくり**であるといえます。

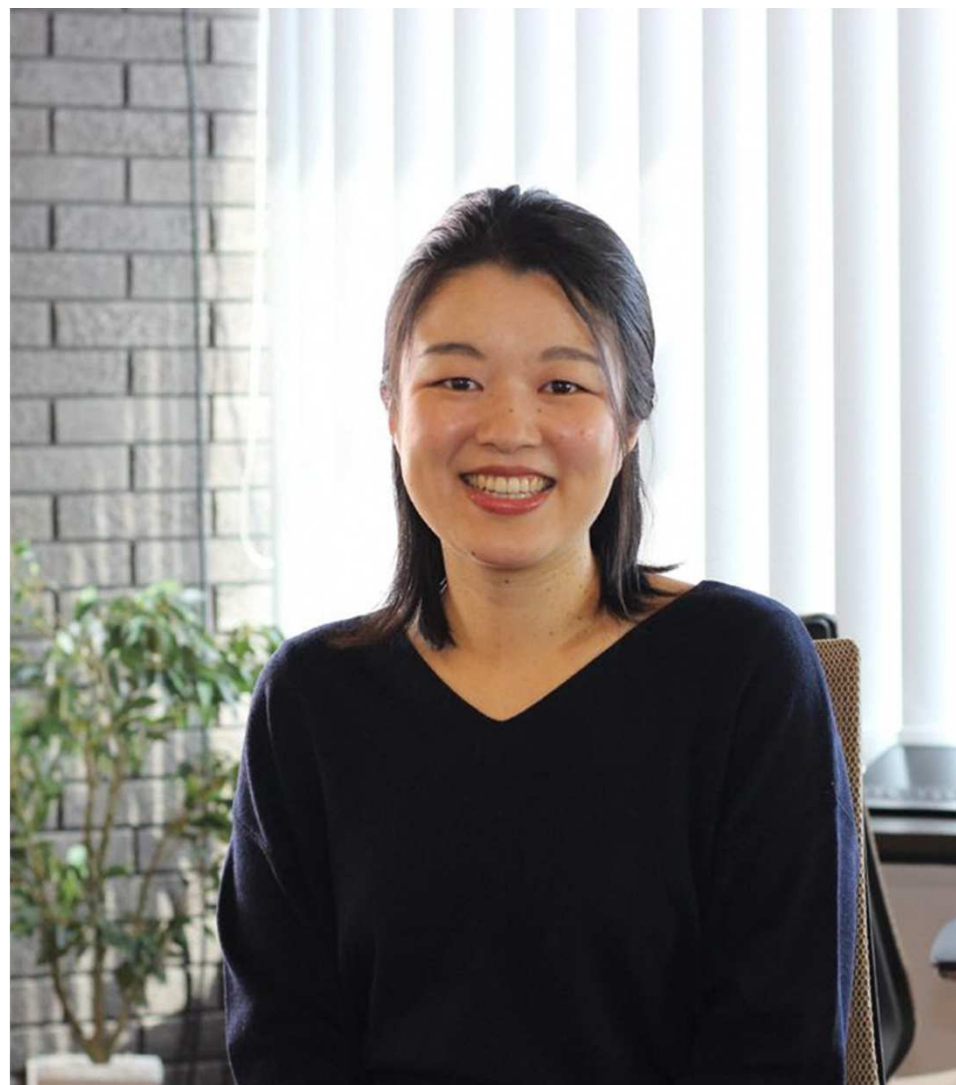
本来はその国に出張しながら支援を行うのですが、コロナ禍によって現地へ向かうことが叶わなくなり、**今は青森に居ながらテレビ会議システムを活用して仕事をしています。**コロナでなければ、2ヶ月に1回くらいは出張で海外に行っていたと思います。



## **いろいろな国の価値観にふれあい、 世界を見つめたい**

現在、コロナ禍の海外渡航規制によって、自分が行ったことのない国の計画づくりをお手伝いさせてもらっている状態なので、まずは一度現地へ行って、各国の状況を自分の目で確認したいですね。

**いろいろな国の価値観に触れ合えるのは楽しいので、コロナさえ収束すればすぐにでも飛び立ちたいです。**



## 移住を考えている方へのメッセージ

コロナ禍によって、わたしの働き方は珍しい働き方ではなくなりました。

**最初青森に来たときにひとつだけ心配だったのは、「孤独にはなるだろうな」ということでした。**

半年間ほど自宅で仕事をしていましたが寂しくて…。

コワーキングスペースを使い始めたことによって、今は孤独を感じずに青森でも問題なく仕事ができています。

**リモートワークやテレワークで移住を検討される方は、何かしらのコミュニティへ所属したり、コワーキングスペースの活用をお勧めします。**

